

# 一人ひとりの声を

## 国と自治体に届けよう



## 愛知学童保育連絡協議会

「一人ひとりの声を国と自治体に届けよう」は、2021年と2022年の2年かけた取り組みです。折り返し地点にきた、これからの1年は、1つひとつの課題を深掘りし、実態を明らかにして、国や市町村へ伝えていく取り組み、学びを深める取り組みにしていきます。内容をピックアップしてお知らせしていくことにしました。第1弾は、「学童保育指導員の待遇・職場・仕事内容」について第2弾は、「学童保育の施設」について、今回は「学童保育指導員の常勤配置・複数体制」についてをテーマにあげていきます。

※学童保育指導員とは、放課後児童支援員と、補助員を意味します。

### 8月・9月は「学童保育指導員の常勤配置・複数体制」について

# Pick up!

#### 指導員のしごと



改訂 テキスト学童保育指導員の仕事（編集・発行 全国学童保育連絡協議会）

- ① 子どもが安全に安心して過ごせる生活を守る
- ② 放課後や学校休業日を過ごすために必要とされる基本的な生活内容をつくる（休息やおやつを提供など）
- ③ 子どもが遊ぶための環境の整備と、援助を行う。
- ④ 子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な働きかけを行う。
- ⑤ 保育内容を記録する。
- ⑥ 保育内容に関する情報の共有のための会議や打ち合わせを行う。
- ⑦ 連絡帳などを通じて子どもの保護者に伝える。

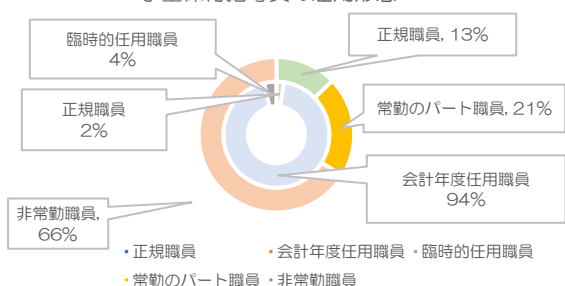


#### ポイント

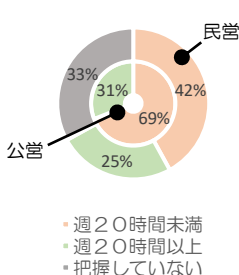
学童保育で子ども一人ひとりが安心感をもち、学童保育で生活できるようにするためには、学童保育指導員との信頼関係が不可欠です。毎日、同じ学童保育指導員が配置される体制でなければ、この信頼関係を築くことは困難です。また、子どもたちと共に生活することで、一人ひとりの理解が深まり、日々の学童保育指導員との関わりの中で、「受け止めてもらっている」という実感をもち、安心して毎日の生活を送ることができます。学童保育指導員の仕事では、子どもたちへの直接的な関わりだけではなく、子どもたちを受け入れるための準備・保育記録の作成や打ち合わせによる振り返り・研修も重要です。学童保育指導員の仕事は多岐にわたり、こうした業務を行うには、短時間の勤務だけではなく、1日のフルタイムの勤務が必要です。

### 愛知県内の指導員について見てみましょう！ ※あいちの学童保育情報ハンドブック（2021年度版）より

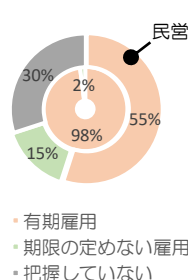
学童保育指導員の雇用形態



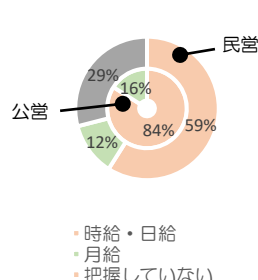
週の勤務時間



雇用期間の定め



給与の計算方法





公営・民営共に、正規職員が圧倒的に少ないことがわかります。勤務時間も週20時間未満で働く人が週20時間以上の半数となっており、期間の定めのない雇用が低率となっています。給与についても、月給者が少なく、年収150万円未満が公・民営共に全体の75%をしめます。学童保育指導員雇用の不安定さが明確です。

## 常勤配置・複数配置を行っている現場の声 (県内の指導員さんより)



3年前まで1人常勤でパート、アルバイトに支えられて保育をしてきました。ある時、他学童で常勤が事故に遭い保育に入れないうちに、、、そこは2人常勤でしたが色々大変な状況でした。

そこで私もいつどうなるかわからないことを考えると子どもたちが変わらず通える学童を維持できるよう、もう1人常勤を雇ってもらおうようお願いをしました。今は2人常勤になりとても安心して日々の保育もできるようになりました。同じ立場で相談でき、協力し合える存在の大きさはとても大きいと感じています。



長らく正規1人だった学童に、5年前、私は2人目の正規として入りました。保育準備、お便り、シフト作成、経理など、実に多くの事務作業をずっとひとりでこなしてきた相棒指導員。「全部自分でやってたから、助かるよ。」という言葉をもたらした時、1人体制の大変さが伝わってきました。2人体制になったことで、連休を取りやすくなりました。ボランティアや研修への参加、帰省など、リフレッシュできる時間が確保できています。このこともあってか、2人体制以降は保育に細やかさとゆとりでき、ベテラン保護者からも「保育の質が上がった。」と高評価です。

### ポイント

学童保育では、一人ひとりの子どもたちが主体的に、遊びを主として、生活の中で仲間とともに思い思いに過ごしています。また、同じ場所で過ごしていても、各自が別の遊びや活動をしたり、おやつ準備と遊び、宿題など同時並行で行われることもあります。学童保育指導員は、分担して連携しながら子どもたちに関わることが重要です。また近年、配慮を必要とする子どもが増加傾向にもあり、様々な課題をもつ子どもに対する理解を深め、家庭への連携の対応も不可欠です。

学童保育指導員の子どもたちにとってよりよい放課後の生活の場を保障するためにも、子どもがいない時間から複数体制で配置されることが必要です。また、常勤複数体制は、安定的な保育体制にもつながります。学童保育指導員が、高い専門性をもち、質の高い保育を実現していくために、そして継続的に働ける環境作りとして、**学童保育指導員の常勤配置・複数体制の確立が求められます。**

学童保育指導員の常勤雇用、複数体制を整えるためには、常勤指導員・常勤複数配置の必要性の理解が必要であることはもちろん、そのための財源確保も重要です。[ワンアクションvol1](#)も参考にさせていただき、放課後児童支援員等処遇改善等事業やキャリアアップ処遇改善事業の活用について、常勤雇用・複数配置の必要性の意義も含めて自治体に声としてあげていきましょう。

## それでは、一人ひとりの声を届けてみましょう！



お1人何回でも投稿可能です。

<https://forms.gle/kmFu3dYDJAacECiX7>

みなさんの声は、Googleフォームを用いて集約します。画像をクリックするか、URLをクリックして、フォームより入力ください。

### 説明動画



みなさんの声をおまちしています  
一人ひとりの声で、これからの学童保育の未来をつくりましょう。

YouTubeの説明動画です  
ぜひご視聴ください。

### お問い合わせ:

愛知学童保育連絡協議会

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7-308

TEL 052-872-1972

Email [aichigakudou@gakudou.biz](mailto:aichigakudou@gakudou.biz)

